

# 当院における採血待ち時間短縮と コロナ禍に対応した混雑緩和への取り組み

横塚 浩昭<sup>1)</sup> 鈴木 清江<sup>1)</sup> 苗木 優貴<sup>1)</sup>  
新保 敬<sup>1)</sup> 堀内 裕次<sup>1)</sup> 小飼 貴彦<sup>2)</sup>

獨協医科大学病院 臨床検査センター<sup>1)</sup> 獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学<sup>2)</sup>

利益相反の有無:無

※この演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。



# はじめに

- 利用者のサービス向上と新型コロナウイルス感染症防止対策のため、採血待ち時間短縮と採血室待合エリアの混雑緩和を目標に、採血台増設を含む運用変更を進めてきた。
- 今回、採血台増設における採血待ち時間短縮の成果とコロナ禍に対応した混雑緩和への取り組みについて報告する。



# 対象・方法

【対象】 2018年1月～2022年11月の採血室利用患者  
1日あたり600～800人

【方法】 集計ソフト(テクノメディカ)を使用  
月～金曜日の8時～13時までの待ち時間平均を1時間毎に求め、  
時間帯別・月別・台数別に比較

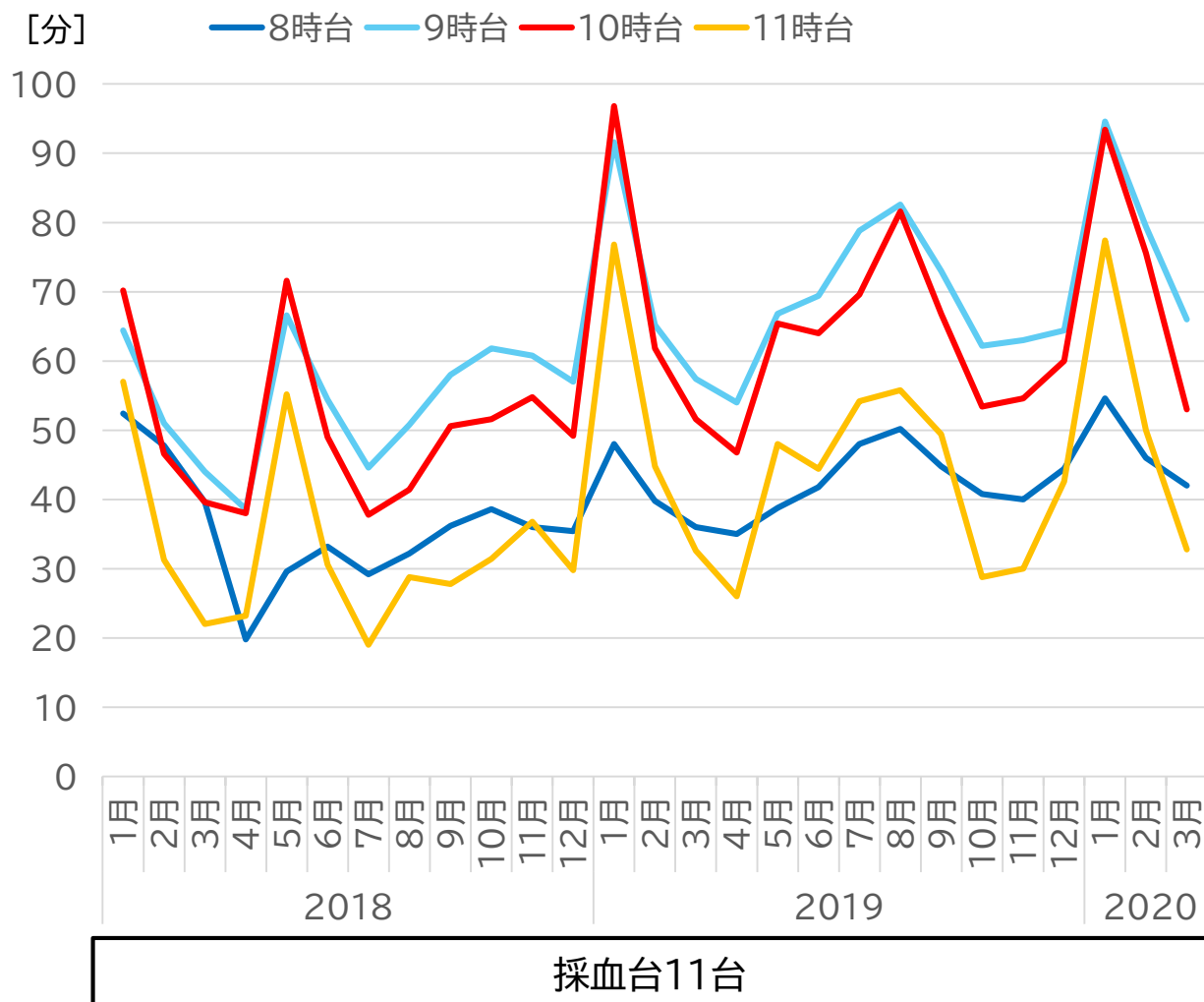


# 採血待ち時間とコロナ禍による問題点

- 当院採血室は以前より採血待ち時間が長いことが問題となっていた。
- 2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の流行とともに3密「密閉・密集・密接」の回避が求められた。当初の対策として席の間隔をあけて座っていただき、ソーシャルディスタンスの注意喚起を行っていた。



# 採血台11台運用およびコロナ禍突入時の採血待ち時間



- 採血台11台運用時の採血待ち時間平均  
8時台:40.0分, 9時台:63.7分,  
10時台:59.1分, 11時台:40.2分
- 平均でも各時間帯40~60分以上の待ち時間があり, 繁忙時期では最大平均待ち時間が100分近くの時もあった。特に2019年1月~2020年1月の9時台及び10時台は50~100分の待ち時間が続いていた。



## 改善策 採血台増設を含む運用変更

2018年3月 採血台11台体制 採血開始時間を30分繰り上げ, 8時採血開始

2020年3月 採血台13台体制

2020年6月 採血呼出番号確認システム(以下:ジュンバンウォッチ)導入

採血番号案内表示ディスプレイの採血室待合エリア以外へ2台増設

2021年6月 採血台15台体制

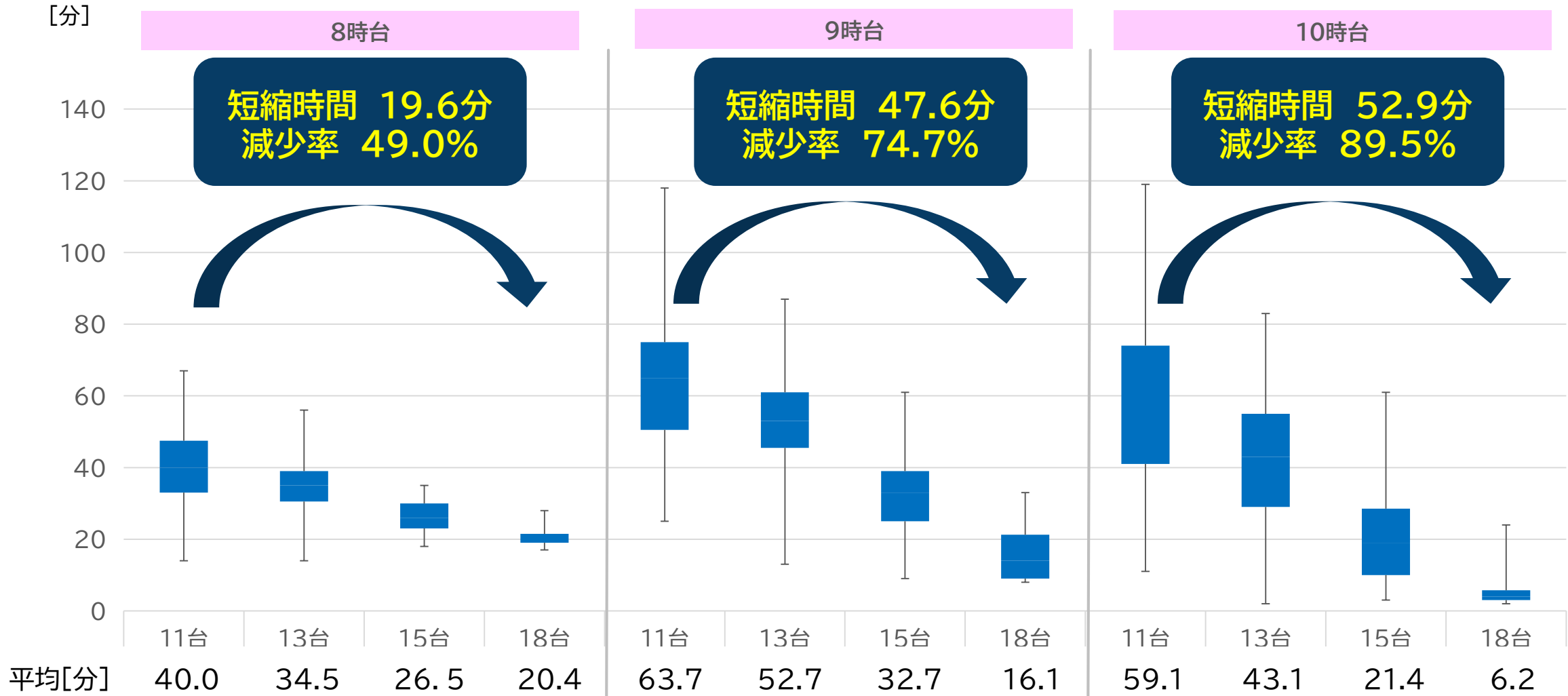
2022年5月 採血台18台体制

採血番号案内表示ディスプレイの採血室待合エリア以外へ1台増設

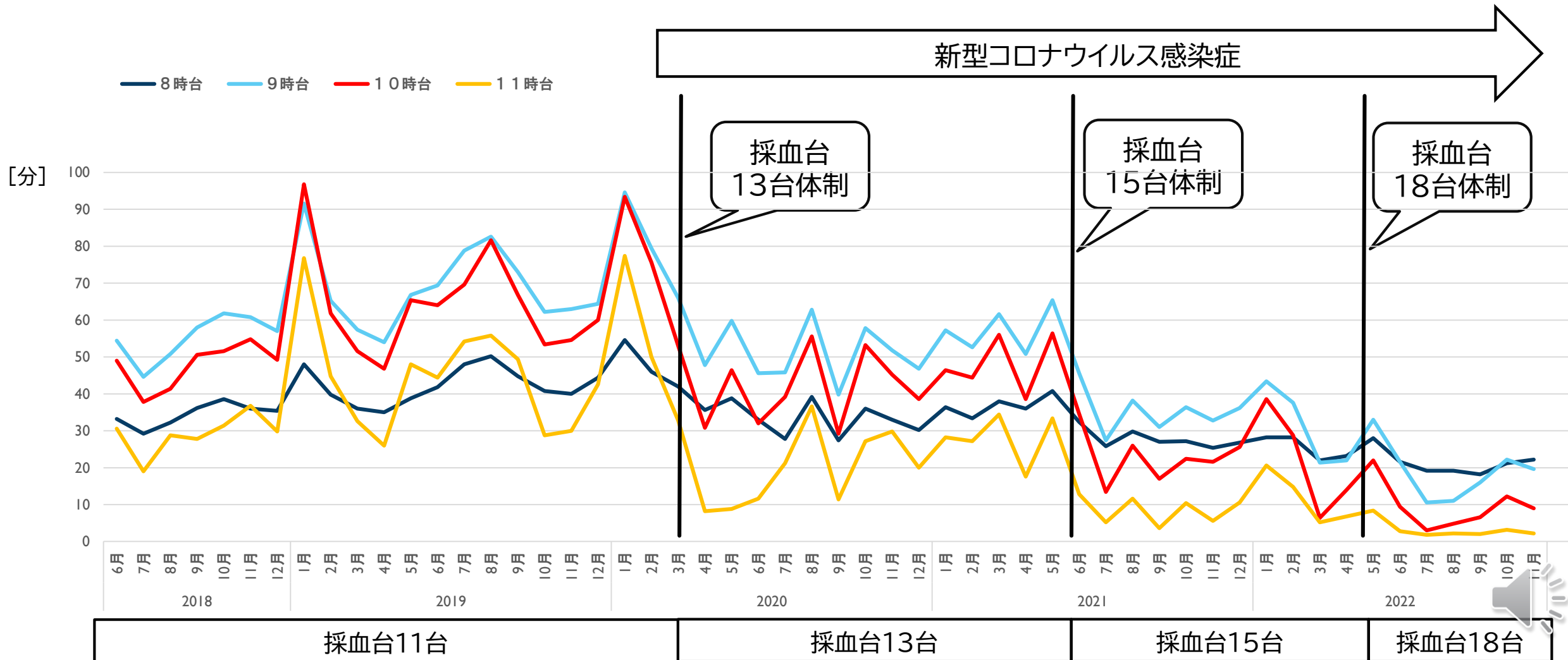
※採血室専任看護師10名の着任



# 採血待ち時間の改善効果 時間帯別



# 採血待ち時間の改善効果 月別





# 採血待ち時間の改善効果 台数別

	11台[分]	13台[分]	15台[分]	18台[分]	短縮時間 [分]	減少率 [%]
8時台	40.0	34.5	26.5	20.4	19.6	49.0
9時台	63.7	52.7	32.7	16.1	47.6	74.7
10時台	59.1	43.1	21.4	6.2	52.9	89.5
11時台	40.2	21.9	9.3	2.3	37.9	94.3
12時台	19.8	9.9	4.8	1.8	18.0	90.9
13時台	7.2	4.9	4.1	2.8	4.4	61.0



# ジュンバンウォッチの導入

- ジュンバンウォッチとは、インターネットを利用して「状況を共有」するシステムで、端末を問わず使用でき、個人情報の登録が不要である。
- 管理側が採血番号を更新することで、利用者が進捗状況を確認できる。
- 利用者は採血受付後、採血室待合エリアだけではなく、院内外問わず自分の順番を待つことができるようになった。



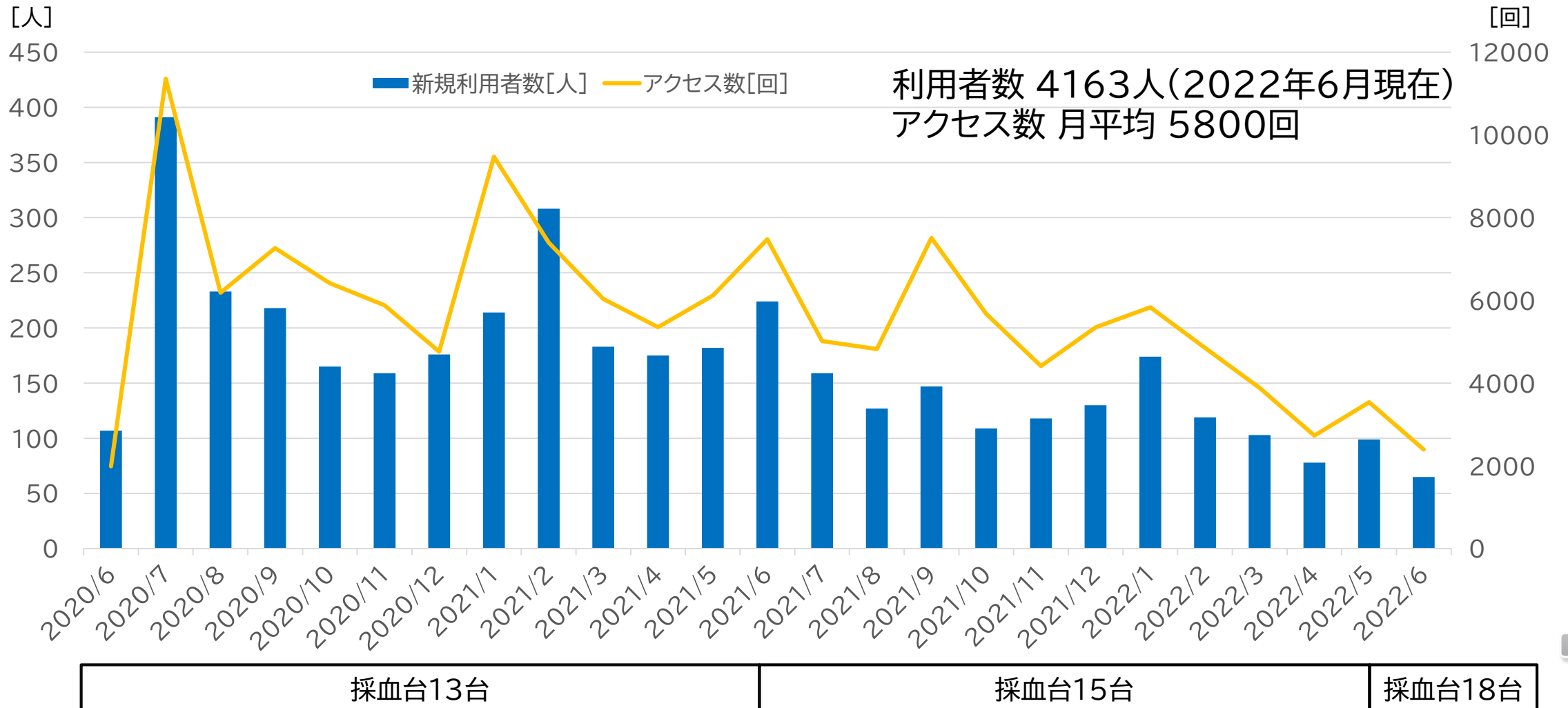
利用者側画面



管理側画面



# ジュンバンウォッチの利用状況



# 採血番号案内表示ディスプレイの増設

- 採血番号表示ディスプレイを採血室待合エリア以外に計3台増設した。
- 採血受付後、採血室待合エリア以外でも待つことができるようになった。



1F 薬剤部, 会計窓口前



2F 放射線部前



2F 生理機能検査待合エリア

# 考察

- 11台から18台への採血台増設により、採血処理能力以上に持ち越していた採血待ち患者の待ち時間は減少して、各時間帯とも採血待ち時間が大幅に改善された。
- 8時台は、8時30分から18台での採血対応となるため、採血待ち時間の減少率は49.0%と他の時間と比べ低かったが、30分間の採血担当者増員でも効果が得られることを確認した。
- ジュンバンウォッチ導入や採血番号案内表示ディスプレイ増設により待機場所の分散・混雑緩和が実現し、新型コロナウイルス感染症防止対策の一助となった。



## まとめ

- 当院における採血待ち時間短縮とコロナ禍に対応した混雑緩和への取り組みについて報告した。
- 施設規模, 利用者数, 利用者の地域性, 予約体制などの問題点に加え, 新型コロナウイルス感染症防止対策もあわせて構築した数年にわたる採血台増設を含む運用変更は, 採血待ち時間の短縮と採血室待合エリアの混雑緩和に有用であり, 利用者サービスの向上につながった。

ご視聴ありがとうございました。

